

## 市民がつなぐ復興への灯

T. A. P 多賀城



多賀城駅前のイルミネーション

平成23年11月23日(水・祝)、JR仙石線多賀城駅前『悠久の詩都(まち)の灯』の点灯式が開催されました。

このイベントは、駅前の活性化を目的に活動しているT. A. P多賀城が主催する光のページェントです。

当日は、ライブや屋台で会場が盛り上がる中、あたりも暗くなってきた17時、太鼓の音に合わせて集まった市民が手拍子しながらカウントダウンで点灯。希望の灯に包まれた駅前の光景に、これまでにない大きな歓声があがりました。震災からおよそ10ヶ月が経ち、地元の市民の手による、毎年恒例のイベントが戻ってきたことは、わたしたちにとって大きな希望です。

特に今回の『悠久の詩都(まち)の灯』は、東日本大震災の影響を受け、保管していた2万8000個の電球も津波被害等で1万2000個が失われました。また、メンバーの中に自宅が津波被害に遭った方もおり、開催が危ぶまれていました。そのような状況が続くなか、開催に向けての話し合いができたのは9月。「それでも誰一人として中止を口にするメンバーはいませんでした」と事務局長の加藤則博さんは話します。これまで市民から募った募金を活用し、新たな電球を加えた結果、4万5000個の電球を灯すことができました。

今回の点灯式は、特に市民がイベントに加わることを重視し、従来の代表者が点灯ボタンを押す形から、会場にいる皆で手拍子をしてのカウントダウン形式で行いました。また、事前の準備で多くのボランティアが電球の飾り付けをしたり、復興に向けてのメッセージを書いてもらうオーナメントも会場に設置しまし

た。市民が何らかの形でイベントに関わることで「自分たちのイベント」という想いを共有できる企画となりました。例年以上に、会場に足を止めて募金をしてくれる人や声をかけてくれる人がいたことが、そのことを証明しています。

T. A. P多賀城では、今後も『悠久の詩都(まち)の灯』を継続的に実施し、電球を多賀城市民と同じ数(およそ6万2000個)を灯すことを目標にしています。市民が参加できる仕掛けをつくりながら「みんな」の『悠久の詩都(まち)の灯』になるように活動を続けます。

今後の活動に向けて、募金や電球の寄付などを随時受け付けています。市民がみんなで作るイベントにご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

団体名：T. A. P 多賀城  
電話：090-2368-4318(担当：加藤)  
E-mail：norihiro@katotetsu.co.jp



たがさぼ事業紹介

NPOいちから塾 わたしにもできる！身近な所からの“復興支援”

### 第3回NPOいちから塾 受講者募集

日時／平成24年2月9日(木)

午後7時～午後8時30分

会場／多賀城市市民活動サポートセンター

(多賀城市二丁目25-3)

費用／500円(資料代)

定員／15名(先着順)

申込／多賀城市市民活動サポートセンター窓口

または電話にてお申込ください。

問合せ／多賀城市市民活動サポートセンター

TEL 022-368-7745

#### ■講座内容■

○被災者復興支援活動をしているNPO紹介

○NPOの意味や仕組み、特徴について

○一歩ふみ出すワークショップ

○たがさぼ館内案内

震災復興で注目を浴びているNPO。たがさぼでは、活動事例を紹介しながら、NPOの仕組み、特徴などについて、わかりやすくお伝えする『NPOいちから塾』を開催しています。前回の参加者からは、「NPOの入口としてよい講座だった」「交流の場にもなった」「非営利活動の意味や内容が分かった」といった感想が寄せられました。次回の『NPOいちから塾』は、2月9日(木)に開催します。震災をきっかけにボランティア活動を始めた方、NPOという言葉は知っているけど何をしているか分からないという方はぜひご参加ください。

□発行：多賀城市市民活動サポートセンター  
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3  
(多賀城市文化センター北隣、上水道部向かい)  
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706  
ホームページ：http://www.tagasapo.org/  
スタッフブログ：http://blog.canpan.info/tagasapo/  
Twitter URL：http://twitter.com/#!/tagasapo  
アカウント：@tagasapo  
□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

# えん+じん

発行：  
多賀城市市民活動サポートセンター  
(たがさぼ)

第4号 【毎月1日発行】

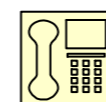
発行日：平成24年1月1日

えんじんは、被災地で生活している方、復興支援活動をしている方を応援する情報誌です。

◇今年も「えん+じん」と多賀城市市民活動サポートセンターをよろしくお願ひします◇

#### えん+じん1月号 目次

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1 ページ…NPO相談窓口                 | 困りごと、悩みごとを抱える被災者の相談窓口です                              |
| 2 ページ…被災者支援活動紹介               | 物資が不足し困っている被災者へ支援を行っている団体です                          |
| 3 ページ…お役立ち情報                  | インターネットを用いた物資提供についてご説明します                            |
| 4 ページ…T. A. P 多賀城<br>NPOいちから塾 | 多賀城を元気にする取り組みを行っている団体を紹介します<br>復興活動のきっかけとなる講座のお知らせです |



### NPO相談窓口

被災者の困りごとや悩みごとに対応する相談窓口を紹介します。

#### ●パープル・ホットライン●

災害、暴力被害、生活のことなどさまざまな悩みごとを相談できる女性専用の電話窓口です。適切な支援者へつなげます。

対象：災害・暴力・人権・生活等に悩む女性

団体：NPO法人全国シェルターネット

電話：0120-941-826(通話料無料)

時間：24時間対応

H P: http://nwsnet.or.jp/purpleline/

#### ●POSSE(ポッセ)労働相談●

残業代、有給休暇、解雇、労災といった労働相談や雇用保険制度、住宅制度、職業訓練、生活保護といった行政が提供している生活支援のための情報を紹介しています。

対象：労働や生活に関してお困りの方

団体：NPO法人POSSE(ポッセ)

電話：03-6699-9359(東京)

時間：24時間対応

H P: http://www.npoposse.jp/

#### ●東日本大震災「こころのサポートルーム」●

安全安心な場所で被災者及び支援者のこころのサポートを行っています。面談、電話による相談を受付けています。秘密は厳守いたします。

対象：震災により不安を抱える方

団体：NPO法人仙台交流分析協会

電話：022-265-0441(宮城)

時間：午前10時～午後4時(木～土曜)

H P: http://www.ta-sendai.com/

#### ●酒害相談●

お酒に関する問題でお悩みの方、もしくはその家族の方を対象に酒害相談を行っています。一緒に考えて解決の道を見つけていきましょう。

対象：お酒の問題で悩んでいる方、その家族の方

団体：NPO法人宮城県断酒会

電話：022-214-1870(宮城)

時間：午前10時～午後5時(月～金曜)

H P: http://www15.ocn.ne.jp/~miyadan/

#### ●認知症の介護に関する相談電話●

認知症の方の介護は、経験をしてみないと、大変さが分からないと思います。介護経験者が事例等を提示しながら、相談に応じます。

対象：認知症の方、認知症の家族の方

団体：公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部

電話：022-263-5091(宮城)

時間：午前9時～午後4時(月～金曜 祝日は除く)

H P: http://www.alzheimer.or.jp/

#### ●生活なんでも相談電話●

労働、金融、生活保障、介護、法律、クレジットカード、サラ金等、生活全般に関する相談に応じます。

対象：生活に関して困りごとを抱える方

団体：ライフサポートセンターみやぎ

電話：0120-980-629(通話料無料)

時間：午前10時～午後4時(月～金曜 祝日は除く)

H P: http://www.life-support-miyagi.jp/

「たがさぼ」では、東日本大震災による被災で困りごとを抱える方に対して、上記以外のNPOが取り組んでいる被災者支援活動の情報を提供しています。また、ボランティア活動を始めた方からの相談や、すでに地域づくりに取り組んでいる団体のみなさんからの相談に応じています。来館はもちろん、お電話でも受け付けております。ぜひ「たがさぼ」までご相談ください。

被災者支援活動紹介コーナー

# 被災地のニーズと支援者の想いをつなぐしくみ アースワン

## ●必要な場所に必要な支援を届けるシステム

宮城県内全域でさまざまな被災者支援活動を展開しているアースワン。その中心メンバーは、活動を続ける中である問題に気づきました。それは、届けられる支援と被災者が求めているニーズがうまくつながっていないということでした。

震災後、全国から多くの支援物資が被災地に寄せられています。しかし、その一方で「乳幼児が食べられる物が届かない」「届いた衣類のサイズが合わない」といった被災者のニーズに合わない支援が発生するようになりました。また、避難所や仮設住宅には物資が届いても、自宅に住み続けている被災者に対しては十分に物資が届いていない状況が知られるようになっています。

そこでアースワンでは、被災者に合わせた支援物資を提供するために、インターネットを活用した、支援物資を仲介するしくみ(マッチングサイト)をつくりました。これは、「大量の支援物資を一カ所に集め、平等に提供する」といった形ではなく、「必要としている方に、必要としている物を必要な数だけ提供する」ためのしくみです。また、支援をしたいという人の気持ちを直接被災者をつなぐ工夫でもあります。(詳しい流れは3ページ目を参照)

アースワンが取り組んでいるこの支援物資の仲介サービスは、ボランティアが各地の避難所を巡り被災地のニーズを調査するとともに、このしくみを被災者に説明して回ったことや、インターネットを通して必要な物資を広く募集したため、多くの被災者が支援者と結びつくことが可能となり、これまでに800件以上の物資の仲介を行うまでになりました(平成23年12月現在)。その内容は、個別家庭向けの衣類や電化製品等の生活用品の提供が中心ですが、多賀城市内では、津波により被災した飲食店へ従業員用の衣裳を提供したこともあります。このように、アースワンは家庭だけではなくお店への支援も行い、被災地域の経済復興の支援も視野に入れた取り組みを進めています。



被災者へ物資を届けている様子



被災地での清掃活動の様子

## ●状況に応じた支援

アースワンでは、被災者に対して物資を届けるだけでなく、聞き取りによる被災状況の確認を行い、必要に応じた的確な支援を実施するように配慮しています。その結果、被災地に拠点を設け、ボランティアの派遣にも取り組むようになりました。ボランティアは、被災した地域の清掃活動や復興イベントの支援にあたっています。

多くの被災地で災害ボランティアセンターが閉鎖される中、未だ手つかずのままになっている被災者の課題を解決するため、アースワンは「第2のボランティアセンター」として活動していく方針です。

震災直後に大切なことは、被災者に対して直接支援するためのしくみを整えることでした。その一つとして、必要な物資が届いていない被災者に対して、ニーズに合った物資を届けるしくみづくりに取り組んできたアースワン。

これからは、物資提供等の被災者への直接的な支援だけではなく、被災地復興に向けて段階に応じたさまざまな取り組みを行い、長期的な支援を視野に入れた活動を行っていくそうです。

物資やボランティアが必要な方は、下記の連絡先までお問い合わせください。支援の内容や被災の状況を確認した上で、できる限りの必要な支援を行います。

団体名：アースワン 宮城支部  
 担当：杉浦 恵一  
 住所：塩釜市花立町21-11  
 電話：080-3651-6969  
 E-mail：i08036516969@softbank.ne.jp  
 H P：http://earth-1.org/home.php  
 ブログ：http://ameblo.jp/earthone311/

お役立ち情報コーナー

# 必要な物を必要な分だけ被災者へ届けるウェブサイト

## ●支援物資マッチングサイトのしくみ

2ページ目の記事で紹介したように、インターネット上には、十分に生活用品を得ることができない被災者に向けて「支援物資マッチングサイト(以下 マッチングサイト)」が立ち上がっています。マッチングサイトでは、支援者と被災者の間をインターネットを使って仲介し、ピンポイントで支援者から被災者へ物資を届けることができます。ここでは、マッチングサイトの便利な使い方と主なマッチングサイトを紹介します。

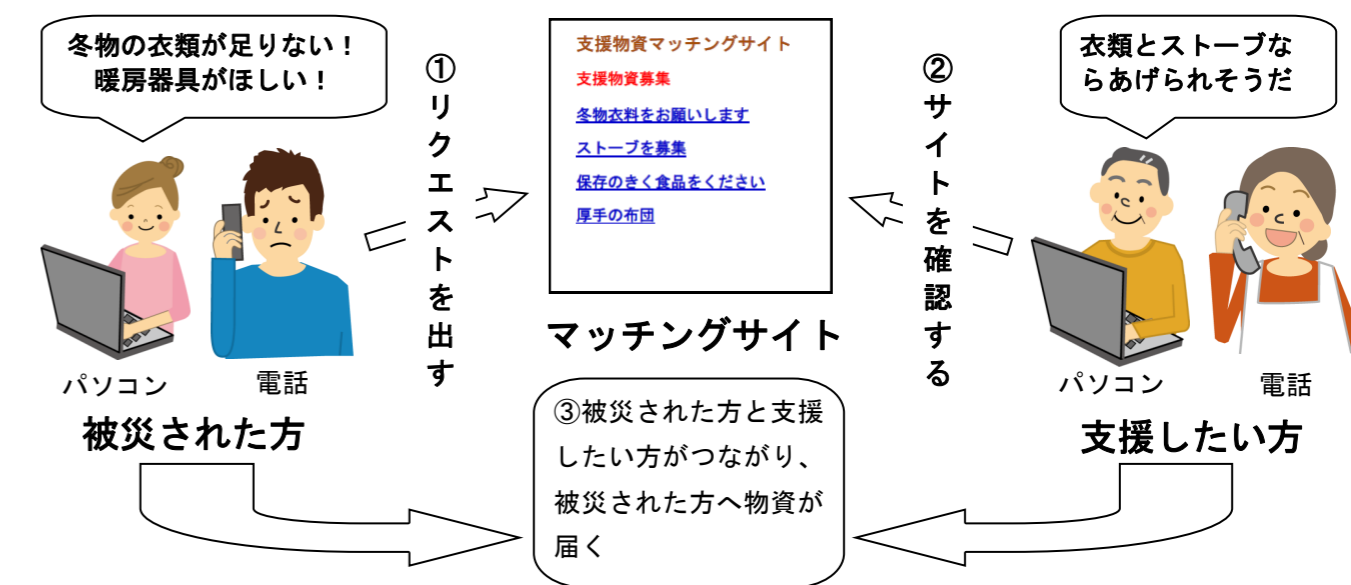
## ●物資提供の2つの依頼方法

### ・提供してほしいものをリクエストする

- ①被災者がマッチングサイトへインターネットや電話で提供してほしい物をリクエストします。
- ②リクエストを出すと必要物資一覧に掲載されます。
- ③支援者が一覧を見て、提供できそうであれば、マッチングサイトを通して被災者と支援者の間で連絡先の交換を行います。
- ④支援者へ連絡先を伝えると、リクエストを出した被災者へ物資が届きます。

### ・提供物資一覧から必要な物資を選ぶ

- ①支援者が、マッチングサイト上に自分が提供できる物を掲載します。
- ②被災者は、提供物資一覧の中から必要な物を探し、支援者に対して物資提供の依頼を出します。
- ③支援者に、被災者から物資提供を依頼されたことが通知され、連絡先の交換を行います。
- ④支援者へ連絡先を伝えると、被災者へ必要な物資が届きます。



被災された方の中には、インターネットを利用することができない方も大勢います。利用できる方が利用できない方と一緒にマッチングサイトを活用することによって、より多くの被災された方に対して支援を届けることができます。まわりにインターネットを利用できない方がいたら、ぜひ手伝ってあげてください。